

出張報告

報告日 2024年 3月 28日

会派名	柏盛クラブ
報告者氏名	重野正毅
種別	<input type="checkbox"/> 調査研究（ <input type="checkbox"/> 行政視察） <input type="checkbox"/> 研修会 <input checked="" type="checkbox"/> 要請・陳情 <input type="checkbox"/> 各種会議
用務	日本経済新聞社役員との意見交換
日時	令和6年3月26日（火） 11:00~ 14:00
場所 （会場）	日本経済新聞社本社（東京都千代田区大手町 1-3-7）
調査項目等	今後の柏崎の方向についての意見交換
概要	<p>日本の中の柏崎市として存続し続けるための方策について</p> <p>■■■■日本経済新聞社専務取締役と意見交換</p> <ul style="list-style-type: none">・過疎化が進行している状況から、企業誘致を進めることだけでなく、機器の開発を進めている企業の実証実験地としての活用を視野に入れる。・工業を形あるものづくりとしての受け止めではなく、ソフトウェアを使ってサービスを作る、というものづくりにシフトしていくことも必要。・事業所が賃金を上げられないのであれば、兼業を認める制度をつくり、できるだけ市外からの外貨を稼ぐということを認めていくことも必要。
所感等	日本経済の中心にいて、世界情勢を含めた日本の動きや立ち位置について、柏崎においては発想も浮かばないようなことに対しての話をしながら、今後柏崎の経営者や行政マンが持つべき視点について意見交換をした。こういう話は、柏崎の多くの人にも聞いてもらいたいものであった。

出張報告

報告日 2024年 3月28日

会派名	柏盛クラブ
報告者氏名	重野正毅
種別	<input type="checkbox"/> 調査研究（ <input type="checkbox"/> 行政視察） <input type="checkbox"/> 研修会 <input checked="" type="checkbox"/> 要請・陳情 <input type="checkbox"/> 各種会議
用務	経済産業省 資源エネルギー庁訪問
日時	令和6年3月27日 14:00~ 15:00
場所 (会場)	経済産業省 資源エネルギー庁（東京都千代田区霞が関 1-3-1）
調査項目等	柏崎刈羽原子力発電所の再稼働に関する要望
概要	<p>要望書の提出と意見交換</p> <p>柏崎市議会、刈羽村議会において「柏崎刈羽原子力発電所の再稼働に関する請願」を採択したことを受け、国の新規制基準に適合する号機の早期再稼働を実現するための要望を行った。</p> <p>【山田 仁 資源エネルギー庁 政策統括調整官】</p> <p>2050年カーボンニュートラル実現に向けて原子力発電は欠かせない。令和4年以来、東日本エリアは電力需給ひっ迫が2回あり、政府による節電要請を行ってきた。原子力発電所が再稼働している西日本エリアに比べ、東日本エリアでは厳しい状況が続いている。東日本エリアの電力を強靱化するためには、柏崎刈羽原子力発電所の再稼働が必要である。</p> <p>令和6年能登半島地震を経ても、国の原子力防災指針の大筋は変わらない。新規制基準や避難計画に対するわかりやすい啓発、立地地域の経済効果を上げる取組を、内閣府をはじめとする他部署と連携しながら推進したい。</p> <p>東京電力HD（株）に対しては引き続き安全性向上に取り組み、信頼回復に努めることを求めている。</p>
所感等	<p>これだけの人数で訪問したことで、地元的意思是に国に伝えられたと思う。請願審査では、当然地元の経済の活性化に資する再稼働であるか、ということが中心になっていたが、今日の山田調整官の話などからも、国としてはやはり国全体としての電力の安定供給が肝になっていると改めて感じた。</p>

出張報告

報告日 2024年 3月28日

会派名	柏盛クラブ
報告者氏名	重野正毅
種別	<input type="checkbox"/> 調査研究（ <input type="checkbox"/> 行政視察） <input type="checkbox"/> 研修会 <input checked="" type="checkbox"/> 要請・陳情 <input type="checkbox"/> 各種会議
用務	東京電力ホールディングス株式会社本社訪問
日時	令和6年3月27日 15:30~ 16:30
場所 (会場)	東京電力ホールディングス株式会社（東京都千代田区内幸町 1-1-3）
調査項目等	柏崎刈羽原子力発電所の再稼働に関する要望
概要	<p>国と県への要望書提出の報告を意見交換 柏崎市議会、刈羽村議会において「柏崎刈羽原子力発電所の再稼働に関する 請願」を賛成多数で採択したことを報告 し、安全性向上と信頼回復に向けた取組 の推進を要望した。</p> <p>【小早川 智明 代表執行役社長】 立地地域において原子力発電所が存在 することのメリットを実感していただくことが、共存共栄につながると考 える。しかし、かねてから要望されている立地地域での発電事業（地元への電力 供給）には課題が多い。</p> <p>まずは地域に根を張る企業であるために、令和8年の本社機能移転を機に、 社員約300人がエネルギーホール跡地に建設予定の原子力・立地本部事務所 に異動するとともに、田尻工業団地内に東京電力柏崎レジリエンスセンターの 建設も決定した。</p> <p>東日本エリアの電力需給はひっ迫し、安定的な電力供給のために早期に戦線 に復帰したい。そのためにも安全性向上と地域振興に資する事業展開を進めて いく。</p>
所感等	<p>これだけの人数で訪問したことで、地元の意思、期待を伝えられたと思う。 また、柏刈への転入者の地元貢献をかなり求めた意見交換であった。これらを受 け、今後、東京電力 HD からは共存共栄ということに対してどれだけの誠意 を持って対応していただけるのかを見守っていくことになる。</p>

